

**令和 7 年度
札幌市自立支援協議会
年間活動報告書
＜分冊 1 年間活動報告編＞**

札幌市自立支援協議会

令和 8 年 6 月

SAPP_RO

はじめに

札幌市自立支援協議会とは、障がいのある方が地域で自立した生活を送ることができるよう、地域の障がい福祉の発展のために、中核的な役割を果たす協議の場として、平成 18 年に札幌市が設置した市の附属機関です。

現在、札幌市自立支援協議会の中には、全体会のほか、区ごとに設置されている地域部会、3つの専門部会（相談支援部会、就労支援推進部会、子ども部会）、協議会の運営に関する議論や寄せられた部会だけでは解決できない課題の交通整理をする運営会議、カテゴリごとに分類された地域課題の整理・課題解決に向けたモデル的活動などを実行するプロジェクトチームがあり、障がいのある方が安心して暮らせる地域づくりを目指した活動を行っています。

このたびは、札幌市への報告のため、私ども札幌市自立支援協議会の令和 7 年度中の活動内容と、令和 8 年度の活動目標をこの報告書にまとめました。札幌市自立支援協議会へ報告されたものと同様な課題を抱える障がいのある方の暮らしや支援の参考として、また、今後の施策を検討する際の参考としていただければ幸いです。

札幌市自立支援協議会 会長 近藤 尚也

目次

1	各区地域部会	1
2	地域部会連絡会	27
3	相談支援部会	28
4	就労支援推進部会	30
5	子ども部会	33
6	専門部会連絡会	35
7	運営会議	36
8	全体会	43
9	重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチーム	44

中央区地域部会



令和7年度の主な活動実績

- ★ 毎月（8月、12月、3月を除く）1回、定例会を開催
- ★ 毎月1回、事務局会議を開催
- ★ 中央区相談支援合同勉強会を中央区地域部会に位置づけ（令和8年2月）

活動概要

令和7年度 活動実績	<運営事務局> - 毎月（8月、12月、3月を除く）1回、定例会を開催（詳細は別紙参照） 4月…「中央区地域部会の取り組み」 「令和6年度中央区地域部会年間活動報告」 5月… 座談会「現場で生まれた私の支援」 6月… 講演会「現場で生まれた私の支援」 7月…「令和7年度しゃべりばinちゅうおう」 『「支援」について気軽に話そう』 9月… しゃべりば「繋がることで作れた〇〇さんの良いこと」 10月…しゃべりば「同分野事業所によるグループワーク」 11月…ゆる～い事例検討会inしゃべりば① 1月…ゆる～い事例検討会inしゃべりば② 2月…講演会「就労選択支援について」 - 毎月1回、運営事務局会議を開催 <勉強会事務局> - 令和8年2月に中央区相談支援合同勉強会を地域部会に位置づけ - 隔月で1回（偶数月）、勉強会を開催 2月…中央区地域部会への位置付けについて - 隔月で1回（奇数月）、勉強会事務局会議を開催 <防災に関する取組> - なし
令和8年度 活動予定	引き続き毎月（8月、12月、3月を除く）の定例会及び隔月で1回（偶数月）の勉強会の開催を継続

	・ 年間目標 ➤ 「障がい児・者の生活全般に関わる法律・制度、関係する機関や資源の理解を深める１年にしよう」【地域づくり】 ➤ 「より広く、より深く、顔の見える繋がりを作ろう」【連携】 ➤ 「地域課題を発掘するとともに、その解決に取り組もう」【課題発掘と解決】 ・ 重点目標 ➤ 「地域課題の吸い上げと、課題解決に向けた取り組み」 ➤ 発掘した課題の解決に向けた定例会の実施 ➤ 「まなびば」と「しゃべりば」の実施
	<防災に関する取組> ・ 未定
部会運営で工夫していることや困っていること	
・ 工夫していること ➤ 部会員のネットワークを構築するため、継続的に定例会を開催。 ➤ 定例会は、「まなびば」＋「しゃべりば」の二本立てを基本に行っている。 ➤ 「しゃべりば」は少人数のグループで「秘密厳守」を原則に、困りごとを相談できる場としている。その中で、地域課題を抽出できるよう事務局員が配慮している。 ➤ 課題解決の目的に合わせ、課題別・年代別のグループにするなど、組み合わせに工夫を行っている。 ➤ １時間半まるごと「しゃべりば」とする定例会を開催して、定期的に課題抽出を行い、課題解決に向けた取り組みについて事務局会議で検討を行っている。 ➤ 定例会に参加した人に何かお土産を持ち帰ってもらえるように工夫している。 ・ 困っていること、今後取り組んでいきたいこと ➤ 中央区特有の地域課題をどのように抽出し、解決策を考えていくか（障がい特性に応じた関わり方や性の問題、他機関との連携、制度・資源の活用方法など）。 ➤ 医療、児童、高齢者関係の参加者が少なく、今後、地域部会参加者の底上げをするための方策をどのように行っていけばよいか。 ➤ 定例会に参加することが難しい人にも、まなびばなどの中央区地域部会の取り組み内容を伝える方法を検討していきたい。 ➤ 事務局内に子ども部会の担当窓口となる人を選任していきたい。	

中央区地域部会 令和7年度実績一覧

開催日時	参加者数	プログラム	概要
第1回 4月16日(水) 18:30～20:00	56名	○中央区地域部会の取り組み 株式会社スベンドタイム 片岡 正憲 様 ○令和6年度中央区地域部会年間活動報告 一般社団法人子供と青い空かわせみの森 登山 詩織 様 (中央区地域部会会長)	年度初めの開催のため、前半の「まなびば」は、前年度の活動報告と中央区地域部会についてあらためて説明を行い、後半の「しゃべりば」は、テーマにとらわれずに困りごとの相談や地域部会で取り組んでいきたいことなどについて意見交換を行った。
第2回 5月21日(水) 18:30～20:00	75名	○座談会「現場で生まれた私の支援」 ・一般社団法人子供と青い空かわせみの森 登山 詩織 様 (中央区地域部会会長) ・NPO法人 札家連 地域生活支援センターさっぽろ 久守 雄士 様 ・株式会社スベンドタイム 就労継続支援B型スベンドタイム 片岡 正憲 様 ・医療法人 北仁会 旭山病院 田中 謙吾 様	新年度を迎え、初めて福祉の現場に関わることとなった方から、毎年、福祉における支援に関する悩みが聞かれるため、「支援」をテーマに中央区地域部会事務局員による座談会を開催。後半の「しゃべりば」では、活動へのヒントとするため、テーマにとらわれずに困りごとの相談や地域部会で取り組んでいきたいことなど、意見交換を行った。
第3回 6月18日(水) 18:30～20:00	65名	○講演会「現場で生まれた私の支援」 ・札幌学院大学特別任用教授、社会福祉法人あむ理事、特定非営利活動法人北海道地域マネジメントネットワーク代表理事、特定非営利法人野中ケアマナジメント研究会代表 大久保 薫 様	前回同様「現場で生まれた私の支援」と題し、初めて福祉の現場に関わることとなった方を主なターゲットとして、福祉における「支援」について長く福祉の現場に携わって来られた、大久保 薫 様による講演を開催した。
第4回 7月16日(水) 18:30～20:00	73名	○令和7年度しゃべりばinちゅうおう 「支援」について気軽に話そう	定例会全ての時間を「しゃべりば」(グループワーク)とし、第2回から第3回にかけてテーマとしてきた福祉における「支援」について、参加者の思いや考えを話し合う機会とした。
第5回 9月17日(水) 18:30～20:00	50名	○しゃべりば「繋がることで作れた〇〇さんの良いこと」	事業所間の連携をどのように行ったらよいか等「連携」に関わるアンケート等を受け、「繋がることで作れた〇〇さんの良いこと」をテーマに、参加者が事例等を持ち寄り、事業所同士が繋がることで利用者「〇〇さん」の状況がどのように前進したのかを考えるグループワークを行った。
第6回 10月15日(水) 18:30～20:00	58名	○しゃべりば「同分野事業所によるグループワーク」	同じ分野の事業所同士でのグループワークを希望する声を受け、できる限り近い分野の事業所同士が、各分野における課題、直近の制度改正への対応状況、分野ならではの困りごとなどを議論し、情報共有を行う機会とした。終了後には、各グループでの議論内容を全体で共有する時間を設けた。
第7回 11月19日(水) 18:30～20:00	67名	○ゆる～い事例検討会inしゃべりば①	アンケート等での希望を受け事例検討会を開催。気軽に参加しやすいよう「ゆる～い事例検討会」と題し、堅苦しくない雰囲気を実施した。「答えを出す」ことよりも「様々な視点を共有し、気づきを得る」ことを目的とし、「否定なし」のルールのもと、自然な学び合いを目指した。
第8回 1月21日(水) 18:30～20:00	57名	○ゆる～い事例検討会inしゃべりば②	前回の事例検討会について、参加者から前向きな意見が多かったことを受け、引き続き今年度2回目の事例検討会を開催。事例検討会の手法や技術を専門的に学ぶことを目的としたものではなく「学べる」「役立つ」「楽しめる」場を、参加者全体で一緒につくっていくプロセスを重視した。
第9回 2月18日(水) 18:30～20:00	75名	○講演会「就労選択支援について」 ・就労選択支援事業所 ウィズノレッジ 事業所管理責任者(就業・生活応援プラザ とねっと センター長) 重泉 敏聖 様	令和7年10月より開始された障がい福祉サービス「就労選択支援」の具体的な支援内容や現場での動きについて、札幌市において先駆的な取り組みを行っている「就労選択支援事業所 ウィズノレッジ」で事業所管理責任者を務められている重泉 敏聖 様を講師として講演会を開催した。

北区地域部会



令和 7 年度の主な活動実績

運営委員会、こども部会、相談支援部会の 3 つのチームで活動
 地域課題の洗い出しと解決策を検討し、部会内で社会資源の共有を図っている
 勉強会などを開催、地域の交流を目的としたイベントの参加

活動概要

令和 7 年度 活動実績	・ 運営委員会... 毎月第 3 火曜日に開催（事前に事務局会議で内容を整理） ➤ 広報、学習会、地域課題の 3 チームを結成して活動 ➤ 7 月 地域のお祭り「ノースロード 24 フェスタ」に出店 ➤ 7 月「就労選択支援情報交換会」...34 名参加 ➤ 9 月「北区就労支援ネットワーク」の立ち上げ ➤ 10 月 広報誌「北の区から」第 1 号発行 ➤ 10 月 学習会「若年性認知症の当事者と共に支える」...22 名参加 ➤ 1 月『重度身体障がい者の地域生活を知る』DVD 上映...18 名参加 ➤ 3 月 全体会・学習会「なぜ？どうして？『カスハラ』が起きるのか考えよう！」...37 名参加 ➤ 区内の事業所に通う障がい者・障がい児が製作した作品の展示 ・ こども部会... 毎月第 3 月曜日に開催 ➤ 日頃の支援における悩み事を共有し、課題解決に向けた一助とすることを目的としたグループワークを実施 ➤ 6 月 交流会「北区支援者カフェ（第 1 回）」...22 名参加 ➤ 10 月 説明会「事業所交流会」...34 名参加 ➤ 2 月 交流会「事業所交流会（第 2 回）」...20 名参加 ・ 相談支援部会... 2 か月ごとに定例会を開催（前月に世話人会を開催）
-----------------	---

	➤ 日頃の支援における悩み事を共有し、課題解決に向けた一助とすることを目的としたグループワークを実施 ➤ 6月 勉強会「ひきこもり対策について」...16名参加 ➤ 8月 勉強会「精神科デイケアとは」...14名参加 ➤ 12月 「計画相談 How To 研修」...34名参加 ➤ 2月 交流会「きたまるミーティング」...19名参加 < 防災に関する取組 > ・10月2日に新陽小学校で、北連合町内会の方々と新陽小学校4年生を対象とした北区防災訓練が開催された。北区地域部会として、この訓練に参加し、地域部会メンバーが講師となって、災害時の避難を想定した車椅子の操作訓練を行った。
令和8年度 活動予定	・運営委員会 ➤ 広報誌「北の区から」の編集・発行を行う ➤ noteの活用 ➤ 学習会を企画・開催する ➤ 地域にある課題を見つけ、関係者に共有する ➤ 地域のイベント「ノースロード24フェスタ」に参加する ➤ 北区防災訓練に参加する ・こども部会 ➤ 年3回程度の交流会を企画・開催する ➤ こどもに関係する地域の実情に即した勉強会を企画・開催する ・相談支援部会 ➤ 勉強会を企画・開催する ➤ 相談業務での日頃の悩みを気軽に相談できる場を提供する ➤ 区内の相談室同士の意見交換会を企画・開催する

	< 防災に関する取組 > ・ 10 月頃に開催予定の北区防災訓練に参加する方向で調整中。例年と同様に、災害時の障がい者の避難を想定した車椅子操作の講習などに関わる予定。
部会運営で工夫していることや困っていること	
・ 会議の開催方法について < オンライン会議のメリットとデメリット > オンラインで会議を開催する場合は、会場まで行くことが難しいメンバーも参加できるというメリットがある。しかし、会議の内容が参加者に伝わりにくいことや、議論が深まりにくいこと、参加者が多く、かつ、全員の意見を聞く必要がある場合は、対面で開催する会議よりも時間がかかってしまうなどのデメリットがある。 < 工夫していること > 議論を深めたい、短時間で会議を終わらせたいという意図を持って、対面での会議の開催を望む声が多くある一方で、体調や交通事情のために会場に行くことができないメンバーがいるため、メンバー全員の会議への参加を目指して対面とオンラインの方法でのハイブリッド開催をしている。 ・ 対面とオンラインの双方の方法で参加が可能な学習会や交流会を企画するなど、多様な参加を促す工夫をしている。 ・ 広報活動に力を入れていくため、note に北区地域部会の情報を掲載した。	

東区地域部会

令和7年度の主な活動実績

- ★ 緊密な情報共有を図るため、運営会議を毎月開催
- ★ 強度行動障がいに関する研修会を令和5年度から継続開催
- ★ ネットワーク部会では、ネットワークづくりを主眼として、各種勉強会を開催
- ★ 子ども部会による対話・考察を中心として研修会「ウェルトーク」を開催
- ★ 相談支援事業所によるブロック会議では、相談支援事業所職員と区役所職員による事例検討会を開催
- ★ 当事者、事業者、家族等が交流するイベント「ふくしまルシェ」を開催
- ★ 活動報告の場である全体会を2回開催

活動概要

令和7年度 活動実績	・ 運営会議を毎月開催 → オンラインの利便性を活かし、対面＋オンラインのハイブリッド開催 ・ 強度行動障がいに関する研修会を開催 → 強度行動障がいに対応する事業所・受け入れ態勢の整備を目的として令和5年度より企画・実施 → 令和7年度は5回実施 ・ 支援者間のネットワークづくりを目的に、ネットワーク部会定例会を開催 → 各回テーマを設定し、交流会や座談会、勉強会を実施。令和7年10月に始まった就労選択支援に関する勉強会は2回実施 ・ 相談支援事業所ブロック会議による事例検討会の2回開催 → 相談支援事業所職員のほか、区役所職員も参加し、相談支援事業所が提供した事例について、意見交換を行った ・ 「ふくしまルシェ」の開催 → 障がい者や事業者、家族等がステージ発表、縁日、福祉バザーなどを通じて交流を深めるイベントを開催 ・ 活動報告の場でもある全体会を2回開催 → 活動報告を行うとともに、事業者や関係者に東区地域部会を知ってもらう研修会を企画 → 1回目は、障がいのある学生の在学中から卒業後の支援をテーマに教育関係者、相談支援員、保護者等によるトークセッションを実施 → 2回目は、障がいのある方の就労をテーマとして、フィッシュボウル形式の議論を実施
---------------	--

	<防災に関する取組> ・ ネットワーク部会において、平成30年に発生した胆振東部地震をテーマに勉強会を実施。事業所での取組についてグループワークを行うとともに、防災士を講師として個人や事業所での災害への備えや行政での取組について学んだ
令和8年度 活動予定	・ 当時者、事業者、家族等が交流する「ふくしまルシェ」の開催 ・ 活動報告の場である全体会に併せて、東区地域部会を知ってもらう研修会、勉強会の開催 ・ 事業者同士のネットワーク作りを目的としたネットワーク部会定例会の開催 ・ 相談支援事業所ブロック会議定例会及び事例検討会の開催 ・ 地域課題に対する取組の継続実施（強度行動障がいに関する研修会、学生向けの出前講座） <防災に関する取組>
部会運営で工夫していることや困っていること	
・ 事務局会議及び運営会議を毎月開催することで、顔の見える関係をつくり意見交換等を行っている ・ 会報誌「タピネット」を積極的に活用し、各種情報提供を行っている ・ 身体、知的、精神と3障がいの当事者委員がいることにより、当事者目線の取組や議論を行ってきたが、現在、身体障がい者委員が不在となっており、後任者の選任が喫緊の課題	

白石区地域部会

令和7年度の主な活動実績

運営部会にて課題の整理と解決策の検討を実施した
 白石区全体会にて課題の整理と解決策の検討及び研修会を実施した
 専門部会にて課題の整理と解決策の検討及び交流会と研修会を実施した
 子ども部会の再開に向けた取り組みを実施した
 初任者を対象とした研修会と交流会を実施した

活動概要

令和7年度 活動実績	・運営部会（毎月第2水曜日） ➤ 地域課題の把握と解決策の検討 ➤ 組織の再編、規程の整理 ➤ 白石区全体会の企画 ➤ 構成員（賛同会員）に向けた課題提出票の導入の準備 ・白石区全体会（12月、2月） ➤ ワンオールより講師を招き、協議会の役割や機能の説明を実施 ➤ 構成員に運営部会の活動を報告 ➤ グループ交流にて構成員と地域課題の整理と検討を実施 ・専門部会（就労部会） ➤ 『集まる場』を開催（8月、3月） ➤ B型就労継続支援事業所に関して法令遵守、支援の質の向上をテーマとした研修を実施 ➤ 事業所の取り組みや課題を共有 ・専門部会（子ども部会） ➤ 令和8年度の活動再開に向け、有志を募り検討会を開催 ➤ 東部児童相談所にて研修会を実施 ・基礎研修チーム ➤ 『障がい福祉の基礎研修』を開催（8月、11月、2月） ➤ 参加者間の交流の場も設けた
---------------	---

	< 防災に関する取組 > ・ 特になし
令和 8 年度 活動予定	・ 地域課題の整理、検討を行う（運営部会） ・ 構成員と協働して地域課題の整理、検討に取り組む（白石区全体会） ・ 事業所間の関係づくりの場、学びの機会をつくる（就労部会、子ども部会、基礎研修チーム）
	< 防災に関する取組 > ・ 特になし
部会運営で工夫していることや困っていること	
【困っている事】 ・ 部会で取り扱う課題が多岐に及び、検討の時間が不足する。携わる部会員等の負担も考慮する必要があり、効率よく取り組める体制作りが課題。小会議を増やすかどうか。 ・ 扱う課題に共通性がある、部会と直接的関係の無い既存組織との連携が図れない。 【工夫している事】 ・ 地域課題の検討に際しては実情の把握が重要と考え、構成員（賛同会員）の参画を得たい。そのため全体会や研修会、交流会の機会を用いて丁寧な活動報告や趣旨説明を行った。継続的な参画者が増えた。 ・ 人員不足の解消を狙い、研修会や交流会の際に直接お声がけを行っている。（基礎研修チーム）新規の参画者があった。 ・ 新設された東部児童相談所と再開する子ども部会が連携し、滞っていた児童分野の取り組みを実施している。	

厚別区地域部会



令和7年度の主な活動実績

相談チームの発足

昨年に引き続き事業所交流会を対面で開催

支援者同士が気軽に集まれる場が欲しいと多くの声が寄せられた為、支援者同士が繋がれる場づくりを目的にプチ事業所交流会を3回開催

ちょっと聞いてくださいシートの作成

構成団体向けに事例をもとにそれぞれの立場から必要な社会資源を出し合い、支援マップを作製

活動概要

令和7年度
活動実績

- ・奇数月に1回、幹事会を開催（年6回）
 - 部会の運営について検討
 - 事例検討の実施
- ・地域部会を3回開催
 - 総会にて座談会を行い、地域部会の活用方法についてグループワークを実施
 - 第2回地域部会にて厚別の高齢・児童・障がいの事業所交流会を実施。「ちょっと聞いてくださいシート」の活用について。
 - 第3回地域部会にて架空の事例検討を行い、あったらいいなの支援マップ作りを実施。
- ・プチ事業所交流会を年3回開催
 - 気軽に集まれる場所を定期的に設けることとし、今年度もテーマを設けながら継続的に開催予定。
- ・三役・事務局会議を1回開催し、事前に論点を整理、素案の検討
- ・子どもチームにて、区内の子どもに関する事業所、保育園、幼稚園等に参加を呼びかけ交流会を開催。就労支援事業所についての講話と茶話会を実施。
- ・相談チームにて年4回オンライン実施。区内の指定相談支援事業所と委託相談が集まり、現状の共有や地域課題について検討。

	< 防災に関する取組 > なし
令和 8 年 度 活動予定	・ 事業所交流会を実施予定。 ・ 構成団体向けの勉強会を実施予定。 ・ プチ事業所交流会を年 3 回実施予定。 ・ ちょっと聞いてくださいシートの周知
	< 防災に関する取組 >
部会運営で工夫していることや困っていること	
・ 気軽に集まれる場所があったらよいという声をもとに、プチ事業所交流会を年 3 回の定例開催とし、毎回 30 ～ 50 名の方に参加いただくことができた。 ・ 部会の構成員となっている事業所の参加状況が停滞している現状もあり、規約の改正や幹事会の傍聴など活動を知ってもらう機会を作った。 ・ 「ちょっと聞いてくださいシート」を作成し、気軽に困りごとを聞ける仕組みを考え、周知し地域課題の抽出につなげている。	

豊平区地域部会



令和7年度の主な活動実績

新しい運営委員に引き継げるように運営マニュアル作成した。
運営委員会 毎月開催
代表者会議（事務局、部会長、副会長の会議）5回開催
定例会 8回開催
広報「アップルネットワーク」3回（プラス号外1回）発行

活動概要

令和7年度 活動実績	・4月イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンから26,500円のギフトカードをいただき、部会の活動に活用させていただいた。 ・6月定例会開催（学習会＆グループワーク）参加者85名 ➤ 学習会 「地域課題とは？～自立支援協議会のプロセスを知ろう～」 講師：さっぽろ地域づくりネットワーク ワンオール 高村 亮太 氏 ・7月定例会開催（学習会＆グループワーク）参加者56名 ➤ 学習会 「インクルーシブ教育の変遷と課題」 講師：DPI 日本会議常任理事 DPI 北海道ブロック会議 事務局長 インクルネットほっかいどう代表 山崎 恵 氏 ・9、10月定例会開催「防災マップを作ろう」 9月8日 豊平・旭町・水車町・美園 参加者22名 9月24日 月寒・福住・西岡 参加者25名 10月9日 平岸・南平岸・中の島 参加者28名
---------------	---

	・ 11 月定例会開催（地域課題検討会＆グループワーク）参加者 42 名 8 月に募集した地域課題を基に課題解決に向けた具体的なプロセスの一環としてグループワークで検討を行う。 今回は「児童」「行動援護」「短期入所」の 3 つの領域に焦点を当て、「支援のアイデア」や「地域でできること」を中心に、地域課題解決と社会資源開発の方向性を探った。 ・ 1 月定例会開催（学習会＆グループワーク）参加者 44 名 ➤ 学習会 「コープさっぽろ 障がい者雇用の取り組み」 講師：生活協同組合コープさっぽろ 伊藤 大介 氏 ・ 3 月定例会開催（事業所紹介＆グループワーク）参加者 63 名 児童デイの 6 か所の事業所紹介 ・ 部会の運営マニュアルをワンオールの HP に載せてもらい、新たに運営委員になりたい方などに参照してもらう。
令和 8 年度 活動予定	・ 運営委員会 毎月開催 ・ 代表者会議（事務局、部会長、副会長の会議）随時開催 ・ 定例会 6 回開催 ・ 広報「アップルネットワーク」3～4 回発行
防災に関する取組	・ 10 月 6 日 豊平区中の島地区防災訓練（中の島小学校）に豊平区地域部会関係者の障がい当事者数名が参加した。 ・ 9、10 月 定例会 3 回開催（防災マップ作り） 地区別に 3 回に分けて開催し、地区別のマップに各事業所や AED、公衆電話などの社会資源を書き込んでマップを作り、それをデータ化してアプリにして、次年度以降もアップデートしていきたいと検討中。

部会運営で工夫していることや困っていること
・運営委員会の他に「地域課題」「研修」「防災」「広報」の4つのチームを作り、各チームで会議や定例会の企画を行った。 ・昨年度から引き続き部会の構成や規約を見直した。

清田区地域部会



令和7年度の主な活動実績

地域課題の抽出を継続して実施

抽出された課題から清田区全体で共有・改善できることを検討

新たな交流会を実施、今後も内容を精査し企画・運営

活動概要

令和7年度 活動実績	・運営委員会を隔月（偶数月）に対面で実施 ➤ 企画・運営に関する検討や振り返りを実施 ➤ 地域課題の整理 ・各専門部会の会議を実施（こころ・子ども・社会資源の3チーム） ➤ 各部会で定期的に会議、打ち合わせ、活動方針の決定 ・研修会等 ➤ 第一回全体会（令和7年8月6日） ○活動報告 ○グループワーク...地域課題の抽出を以前に行った際に、交流できる場の創出が多くの方から意見があったので、どんな交流会がいいかを意見を持ち寄り検討 ➤ 清田区在宅ケア連絡協議会とこころのチームの共催での研修会を実施（令和7年11月19日） ○内容...高齢・障がい分野の連携と実践「複合的な課題を抱える世帯への支援について」、事例検討とグループワークを実施 ➤ ほっこりサロン（交流会）の実施 （令和7年12月8日（AM）・令和8年1月22日（PM）） ○全体会で意見のあった交流会を実施。時間の設定を変え、出入り自由の形で企画。困りごとなどを持ち寄ってお互いに話す・聞くの場の設定。
---------------	---

	➤ 第二回全体会兼研修会（令和８年２月２５日） ○活動報告 ○研修内容...障がい福祉サービスの基礎知識～児童期から成人期への移行～講師：相談支援事業所ノック相談員 ○グループワーク...移行期のモヤモヤを解消、多職種ディスカッション ・社会資源チームの活動から 社会資源マップを作成 ○清田区を中心に、社会資源等の情報や困った時に対応してくれる情報などを簡単にまとめた資料を制作。ワンオールホームページの清田区地域部会のページに掲載
	< 防災に関する取組 > ・清田区の防災マップを作成、更新を実施
令和８年度 活動予定	・全体会の実施（年２回ほど） ・各部会の活動を推進 ・交流会（ほっこりサロン）の企画、運営 ・相談支援チームの発足 ・地域課題の精査・検証
	< 防災に関する取組 > ・清田区の防災マップを作成・更新予定
部会運営で工夫していることや困っていること	
・継続して実習生や会員等から運営委員会への参加希望があれば、傍聴やオブザーバーとして参加できるようにしている ・運営委員会の簡易議事録を部会員に送信し、協議会の活動内容を周知 ・元気サーチの更新等を研修会等で都度アナウンスし周知 ・交流会への積極的な参加の方策を検討中	

南区地域部会

令和7年度の主な活動実績

事例検討や茶話会などを通じて個々の課題発掘を行い、部会内で検討、アイデアを出し合って活動に反映した。

おとなチームとこどもチームが各3回程度の研修会や茶話会を実施した。

活動概要

令和7年度 活動実績	【運営委員会（年6回）】【事務局会議（毎月）】 ・全体会（報告会）の開催（R7.5.14） 令和6年度の活動報告、グループワークの実施。 ・見守る人材育成研修（NPO法人みなば主催）への参加協力 ・運営委員会と事務局との業務分担と課題整理。 ・入退会などについて規約の改正。 ・区内事業所への各種情報発信。 ・課題抽出を実施し、「一般の方への障がい理解の機会」について令和8年度の全体会でのシンポジウムの実施を検討。 【こどもチーム】 ・運営委員会の定例開催。担当を明確化し、活動を活性化。SNSの活用。年2回の広報誌発行。 ・茶話会（研修・事例検討） 「アタッチメントってなあに」研修会・グループワーク R7.6.10 「発達障害の理解」研修会・グループワーク R7.10.14 「ワールドカフェ方式の茶話会」R8.3.6 【おとなチーム】 ・運営委員会の定例開催。SNSの活用。年2回の広報誌発行。 ・茶話会（研修・事例検討） 「福祉サービスを知る（新人研修）」茶話会・グループワーク R7.7.16 「茶話会」R7.9.17 「虐待防止研修」研修、ミニワーク、事例検討 R7.11.18 「福祉に関わるおとなのホンネ会」茶話会 R7.12.4
---------------	--

	< 防災に関する取組 > ・ 特にありません。
令和 8 年度 活動予定	【運営委員会（年 6 回）】【事務局会議（毎月）】 ・ 全体会（報告会）や研修会等の開催 全体会（報告会）にて部会の取組報告、協議会の役割共有 研修会等は、市民の障がい理解の啓発を主として活動方法を検討し、実施予定 ・ 委員会の定例化と SNS 等の活用による円滑な情報周知の継続。 各チームの活動報告を受けて、個々の課題発掘に向けた事例検討や交流会の実施検討。 ・ 区内事業所への各種情報等の周知。 【こどもチーム】 運営委員会は毎月実施 ・ 茶話会、研修会、事例検討を 3 回程度に分けて実施予定。 ・ 研修担当や広報担当を明確化し、活動の活性化。 ・ SNS を用いた情報交流と周知を継続。年 2 回の広報誌発行。 【おとなチーム】 運営委員会は隔月実施 ・ 茶話会、研修会、事例検討を 3 回程度に分けて実施予定。 ・ 役割の明確化を検討。SNS を用いた情報交流と周知を継続。
	< 防災に関する取組 > ・ 特にありません。
部会運営で工夫していることや困っていること	
【工夫している】 ・ 各チームで茶話会や交流会を活発にすることで課題抽出が進んでいる。 ・ 主たる活動をおとなチームとこどもチームで分担して実施することで、ライフステージに合わせた課題抽出や解決の幅が広がり、また豊富なアイデアの下で活動が活発化している。 【困っている】 ・ 区内の市民への障がい理解の啓発をどのように進めていくのかを考えている。	

西区地域部会



令和7年度の主な活動実績

事務局会議を偶数月に開催。

全体会を開催。

相談支援推進会議を開催。9月からオンラインケアカフェを行う。

西区子ども部会で交流会を開催。

活動概要

令和7年度 活動実績	・事務局会議を対面で開催(4月、6月、8月、10月、12月、2月) ➢ 全体会や交流会の開催及び内容の検討 ➢ 全体会で挙げられた地域課題の整理 ➢ 8月の会議後からグーグルワークスペースの利用を開始 ・第1回全体会を開催(6月)15事業所20名参加 ➢ 規約の変更(守秘義務条項の追加について)の承認 ➢ 今年度の活動予定について ➢ 令和7年度の元気の出る交流会のテーマと役割について3グループに分かれてグループワークで検討 ○元気の出る交流会 第3回 事業所説明会を開催(9月)手稲区地域部会と共催 出展事業所数39 出展関係者98名 来場者61名 場所：手稲養護学校三角山分校体育館 グループワーク(10月) 参加者64名 場所：ちえりあ会議室 虐待、8050問題、緊急時の対応、こんな時どうしてますかの4つのテーマから2つを選んでグループワークを行う 研修会(2月) 参加者50名 場所：西保健センター講堂 「身寄りのない方への支援～亡くなる前にできること、亡くなった時に支援者ができること」 弁護士の先生を招いて学習会を行う。
---------------	---

	・相談支援推進会議の開催 お互いの事業所について理解を深める。(7月 29名参加) 就労選択支援についての勉強会(11月 23名参加) 重度身体障がい者の支援について(2月 15名) 重度身体障がい者の方の研修 DVD の視聴と権利擁護についての勉強会とグループワーク *オンラインケアカフェ(40分間入退出自由の Zoom 交流会)を9月に試験的に実施し、その後毎月開催(毎月10名程度参加) ・西区子ども部会の交流会を開催 5つのテーマ de WORKSHOP(6月 108名参加) 困っている行動の奥にあるメッセージを読む～ABAについて学ぶ(11月 118名参加) < 防災に関する取組 > 地域課題として熊の出没が上がっている。西区は熊警戒地域になり、児童デイでは外遊びができなくなったり、熊が出没している事業所では職員を集団で退勤させる等対応に苦慮している。
令和8年度 活動予定	・事務局会議の開催(偶数月) ・全体会の開催(4月) ・元気の出る交流会の開催 5月 グループワーク 9月 事業所説明会 2月 研修会 ・西区相談支援部会の開催 年2～3回の開催を予定 ・子ども部会の交流会の開催 6月と11月に予定
部会運営で工夫していることや困っていること	
・今年度は手稲区地域部会とも協働し事業所説明会や元気の出る交流会をおこなっている。 ・事業所説明会で障害当事者や家族の来場を促すにはどうしたらよいか。来年度の開催に向けて周知の方法等検討していく。	

手稲区地域部会



令和 7 年度の主な活動実績

2 グループにて毎月定例会を開催 「第 3 4 回 ていね夏あかり」に手稲区地域部会として参加協力を行う J R 手稲駅にて「手稲区障がい福祉活動 P R 展」を開催 9 月と 3 月に全体会を開催 事業所製品販売会「ていねうえるふえあま～けっと」「しあわせマルシェ in Route148」を開催 部会規約の改定を行う 各グループで勉強会、研修会を開催
--

活動概要

令和 7 年度 活動実績	●事務局 ➤ 毎月第 3 金曜日 1 4 : 0 0 より「事務局会議」を開催 ・奇数月は「事務局会議」偶数月は「拡大事務局会議」 ➤ Fecebook および Blog を運営し、定期的な活動報告を行った ➤ 地域のイベント参加および地域の中での障がい福祉に関する啓発イベントを開催した ・ 7 月 2 0 日「第 3 4 回 ていね夏あかり」参加 ・ 1 2 月 1 日「手稲区障がい福祉活動 P R 展」開催（～ 8 日） ➤ 9 月 2 6 日、3 月 6 日に全体会を開催し、活動内容および次期活動計画について運営委員からの承認を得た ・ 9 月の全体会は部会の規約についての見直し、改定を行った ・ 3 月の全体会の中ではワン・オールに講義を依頼し、自立支援協議会ならびに地域部会の役割について改めて運営委員の間で確認を行った。 ➤ 西区地域部会主催の事業所説明会や交流会に手稲区の事業所にも参加を呼び掛けるなど開催協力を行った
----------------------------	---

	➤ 手稲区・区内相談支援事業所合同会議を部会の活動と紐付ける形として情報の共有を図った ●子どもグループ（児童向けサービス事業所、関係機関等で構成） ➤ 毎月第4金曜日に定例会議を開催 ➤ 「第1回勉強会」 テーマ：多職種連携のヒント～療育現場における連携実践～ 開催日：9月17日（水）18:30-20:00（手稲区民ホール） 参加者：61名 専門職（PT、ST、OTなど）による実践報告や質疑応答、それを受けてのグループトークを行った。 ➤ 「お試しいベント」 テーマ：来てみていーねの会 研修報告っていーね 開催日：11月26日（水）18:30-20:00（オンライン） 参加者：5名 虐待防止研修参加者による実践報告および座談会を行った ➤ 「第2回勉強会」 テーマ：現場で活かす！保育所等訪問支援 開催日：1月21日（水）18:30-20:00（オンライン） 参加者：71名 保育所等訪問支援事業所による実践報告およびグループワークを行った ●地域生活支援グループ（成人向けサービス事業所、関係機関等で構成） ➤ 毎月第2火曜日に定例会議を開催（10月までは第3火曜日） ➤ 「ていねうえるふえあま～けっと」 開催日：6月27日（金）～6月28日（土） 開催場所：手稲神社ガレージ 手稲区内の11事業所が参加し、事業所製品の展示販売を行った
--	---

	➤ 「第1回研修会」 開催日：9月19日(金)18:00-19:00(手稲区民センター) テーマ：「支援について工夫している事 取り組んでいる事」 参加者：19名 上記テーマについてグループトークを行った ➤ 「しあわせマルシェ2026 in Route148」 開催日：3月14日(土) 開催場所：Route148 手稲区、西区より14事業所が参加し、事業所製品の展示販売を行った < 防災に関する取組 > ➤ 地域生活支援グループ「第2回研修会」 テーマ：「突然のその日、その時」に動けるチームへ 開催日：2月27日(金)18:30-20:00(オンライン) 参加者：23名 「要配慮者利用施設における避難確保計画」をテーマに講義およびグループトークを行った
令和8年度 活動予定	・事務局および各グループでそれぞれ月1回の定例会議を開催 ・各グループの定例会議においては「地域の話題」「困難事例」について話し合う時間を持ち、地域課題の抽出につなげていく ・これまで定例会議の中で行ってきたイベント等の準備打ち合わせについては定例会議では行わず、イベント毎に準備担当チームを立ち上げ、チーム単位で準備を進めていく ・上記の担当チームと一緒に広報活動検討チームを立ち上げ、部会で行う広報活動の方向性について議論していく ・構成委員は障がい福祉サービス事業所の職員が中心であるため、事業所以外の地域の声をより拾っていける仕組みづくりを検討していく

	< 防災に関する取組 >
部会運営で工夫していることや困っていること	
《工夫している事》 ・状況に合わせた会議の招集方法の設定 → 会議を必要に応じて対面とオンラインで使い分け、移動時間などの短縮を図っている ・研修開催時のテーマについて → 研修等は参加事業所より気になるトピックスを上げてもらい研修開催時などの参考としている。 ・google ドライブを活用した役職者引継ぎ資料のデータ化 → 今までは部会の各データや資料などは個人間での引継ぎを行うことが多かった。そのため、過去の資料を持っている運営委員が限定されてしまい、共有や参照を行う際に時間がかかりがちであった。 → 過去の引継ぎ資料を google ドライブにて保管共有することで必要な資料に関して適宜希望者が参照できるようになった。引継ぎ資料をすぐに共有し活用できるようにすることで役職者の負担軽減が見込まれる。 《困っている事・今後の課題》 ・所属事業所の業務との両立 → 運営委員によっては日常業務の繁忙期などには日常業務と部会活動の両立が難しくなることがある。 ・協議会、地域部会の役割、機能についての定期的な周知 → 運営委員に参加して日の浅い方には協議会や地域部会の全体像が見えづらい。 ・地域課題の抽出方法の模索 → 現時点で地域課題を抽出するためのノウハウが不足している。課題抽出の為のアンケートの作成や調査実施などを今後検討していく。	

・ ZOOM 会議について

→各事業所、多忙な中で時間を取りやすいという大きなメリットはあるものの、意見が出にくく、会議では一部の人のみ発信することが多い。今後は、活発な議論が得られるような施策（会議前の議題の告知や必要であればアンケートなど）を各事業所が負担にならないよう配慮しつつ、考えていきたい。

・ 管理者以外の職員の運営委員としての参加が難しい

→現状では運営委員として参加しているメンバーは管理者やそれに準ずる方が多い。グループの運営として広い視点から地域や運営に関する意見が欲しかったため、運営委員アンケートで「所属機関で現在の参加者以外に活動に興味のある職員はいるか」といった設問を設けたが、「いない」との回答が多かった。

→事業所の人員体制などで若手職員などの協議会の運営参加が難しく参加できても茶話会や座談会の参加者としての限定的なものが多いように感じる。より柔軟に運営できる方法や参加への魅力を感じてもらえる協議会作りが必要であるが、壁を感じる。

・ 福祉事業所以外の運営参加勧誘が難しい

→現在、運営委員の所属のほとんどが福祉事業所である。障がい者の地域生活を考えるのであれば、幼稚園やこども園、地域の活動団体にも参加してもらえるとより活動や地域づくりの幅を持たせられると思うが、どこからつながりを持つことができ協力体制を築いていけるのかがわからなかった。

地域部会連絡会



令和7年度の主な活動実績

各区地域部会における活動の取り組み状況を共有した。
各区地域部会が有する地域課題の共有と協議を行った。

活動概要

令和7年度 活動実績	・2か月に1回、地域部会連絡会を開催（5/28・9/10・11/26・2/19） ➤ 各区の近況報告や情報交換・交流、地域部会運営において困っていることの相談など。 ➤ 協議会ですすめている障がい者プランへの提言に向けての動きについて情報共有。 ➤ 地域課題の整理について検討。 ・情報提供や地域周知の方法などについて話し合うことができた。 ➤ 協議会における守秘義務について情報共有 ➤ 就労系サービスの質の課題について情報共有・意見交換 ➤ 地域部会の周知方法や参加者を増やしていく工夫について
---------------	---

○ 構成：各区地域部会長

○ 事務局：札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

相談支援部会

令和7年度の主な活動実績

年間活動計画に基づいた取り組みを進める。

定例会（年3回）、事務局会議（年6回）、エリア会議（年3回）、巡回法律相談会（各月）、地域支援員会議（年3回）、ピアサポーター事業所会議（年4回）を、年間活動計画に沿って実施。

さっぽろ障がい者プラン一部見直しに向け、提言につなげる仕組みづくりとして「計画検討部会課題整理チーム会議」を発足。全7回に渡り会議を重ね、検討。相談支援部会からの提言として、内容をまとめる。

活動概要

令和7年度活動実績	令和7年度相談支援部会活動計画の重点目標を念頭に置き、活動を推進。 ○各事業所より提出された「課題調べ・情報共有シート」をもとに、各エリア会議・定例会で提出内容の共有・検討を行った。 対象者支援を行うなかで直面した課題を共有し、対応事例を確認したり互いの意見を考察し合うことで支援スキルの向上につなげることができている。 ○さっぽろ障がい者プラン一部見直しに向け、相談支援部会内に「計画検討部会課題整理チーム会議」を設置し、提言内容を検討。大きく、過去6年分の課題提出内容から検討・整理を行った提言と 白石・厚別・清田エリアの調査資料と意見書に基づく、新たな相談支援体制構築に関する提言とに分け、内容をまとめる。 ○相談支援部会・白石・厚別・清田エリアにより、全国の政令指定都市における相談支援体制の状況調査が行われ、調査資料と意見書提出により問題提起。基幹相談と委託相談の重複業務における効率化・機能分化などの課題を全体で共有し、これからの相談支援体制構築に向けた相談支援部会としての提案のあり方を継続検討。 ○各区で指定相談支援事業所との意見交換会を実施する。 【各区の取り組み】 ・指定相談支援事業所の体制や、利用受け入れ状況の確認。 ・指定相談支援事業所と委託相談支援事業所の連携の在り方を確認。 ・社会資源に関する情報共有。 ・勉強会、研修会、意見交換会の開催。 意見交換会で指定相談支援事業所から出た話題が、課題調べシートにて相談支援部会に提出され、検討を行っている課題もある。
-----------	---

	○各方面からの会議出席依頼に対し、相談支援部会より構成員を派遣。相談支援部会として共有されている見解の表明を行い、情報提供などを行っている。会議参加は、相談支援部会事務局事業所以外による「実行部隊」事業所が担当し、会議依頼への対応・調整は「窓口事業所」が行っている。 ○相談対応地域を区分けする「地区割」が、北区を先行モデル地域として開始。ケース対応件数のバランスもおおよそ見込み通りとなり、当初の予定どおり、令和８年度より市内全体で地区割が適用。 関連する話題として、相談する家族が本人とは別の区に住む場合にどこがどのように対応すべきか整理することとなり検討を進めている。委託相談支援事業所同士が連携することにより相談に空白ができないように配慮することを共有しながら、相談支援部会内で議論を進め、相談者にとって相談しやすい最適な方法、相談支援体制について検討を進めていく。
令和 ８年度 活動予定	○令和８年度の重点目標 ・区役所の相談支援体制の強化と地区割に対応した新たな連携体制づくりに取り組む。 ・構成員の主体的な議論参加と合意に基づく会議運営を目指す。 ・役割の明確化を念頭においた相談支援体制構築に向けた検討を継続する。

部会運営で工夫していることや困っていること	
令和８年度から、委託相談支援事業「地区割」が全市域適用となり、これまで以上に、地域間格差のないバランスの取れた相談支援提供と、それを実現し得る相談支援事業所全体のレベルアップが求められている。 このためには、構成員が部会活動に参加する意識が高まるような会議運営を目指す必要があると考え、意見交換・議論の活性化を念頭に置いた会議スケジュールの構成や会議参加にあたっての仕組づくり（事前準備や協議会参画を意識した日常の支援実践）について検討、工夫を進めている。	

就労支援推進部会



令和 7 年度の主な活動実績

定例会・学習会の開催	運営委員会の開催
各種チーム（研修企画チーム、広報チーム）の活動	その他の活動

活動概要

令和 7 年度 活動実績	<u>就労支援推進部会 部会構成員 定例会・学習会の開催</u> ・ 05 月 14 日(水)13:00～17:00 かでる 2・7-820 会議室 ・ 150 名/118 機関（ハローワーク、北海道障害者職業センター、就労系サービス事業所、就業・生活相談支援事業所、高等支援学校、企業等）参加。10 月創設予定の就労選択支援事業を中心テーマに。札幌市障がい福祉課からの事業説明。前年度、就労選択モデル事業に協力された有志事業所の実践報告を受けて、グループディスカッションの実施。 <u>運営委員会の開催</u> ・ 07 月 24 日(木)18:30～19:45 オンライン ・ 11 月 06 日(木)18:30～20:20 オンライン ・ 02 月 27 日(金)18:30～19:50 市役所 B1F 会議室参集 <u>相談支援事業所対象「就労選択支援事業」周知研修</u> ・ 06 月 16 日(月)14:00～17:00 札幌市産業振興センターセミナール A ・ 相談支援事業所職員 60 名、就労支援推進部会運営委員 11 名参加。札幌市障がい福祉課からの事業説明、前年度就労選択モデル事業に取り組まれた有志事業所からの実践報告を受けて、11 グループに分かれて就労選択支援事業スタートにむけグループディスカッションの実施。 <u>就労支援研修</u> ・ 08 月 01 日(金)13:00～17:30 かでる 2・7 4 階 大会議室 ・ 受講 142 名（子ども分野 15・相談分野 40・就労分野 87）就労支援推進部会運営委員 15 名。大妻女子大学 小川浩教授「就労支援のこれから」講演、専門部会 3 部会長でのシンポジウム、子ども・相談・就労分野混在でのグループディスカッションの実施。
-----------------	---

	<u>JC-NET 共催 発達障がい者就労支援セミナー</u> ・ 10月31日(金)13:00～17:00 基礎セミナー、27名受講（札幌産業振興センターセミナー・ムA 参集 23名、オンライン 4名）、運営委員 15名。 ・ 11月01日(土)09:30～17:00 実践セミナー、札幌産業振興センター 受講 19名。 <u>就労支援アセスメント研修</u> ・ 12月15日(月)13:00～15:00 札幌産業振興センター・ムA ・ 受講 52名、就労支援推進部会運営委員 13名。北海道障害者職業センター 西脇主任カウンセラー「就労支援のためのアセスメントシートの活用」講義を受けてロールプレイの実施。 <u>さぼコン</u> ・ 02月20日(金)16:00～18:00 キャリアバンクセミナー・ム1・2 ・ 28機関・37名（経験5年未満の若手就労支援者）参加。 ・ 就労支援推進部会について説明。前半は世代別・後半は希望テーマ別にグループワークの実施。 <u>就労継続支援B型事業所 ガイドライン作成チーム</u> ・ 事業提案チーム＋就労継続支援B型有志＋札幌市障がい福祉課担当。 <u>さぼサポ（就労支援推進部会 広報誌） 年度末発刊</u> ・ 令和7年度 各種研修・さぼコンの実施報告・事業所さんぽ他 ・ 札幌市 HP「自立支援協議会 就労支援推進部会」にて掲載。
令和8年度 活動予定	<u>運営委員会の開催</u> ・ 7月、2月予定。日中勤務時間帯で日程調整、開催 <u>就労継続支援B型ガイドラインチーム</u> ・ 年度内、札幌市版ガイドライン完成を目指す <u>相談支援事業所対象「就労選択支援事業」周知研修</u> ・ 04月21日(火)午後、札幌産業振興センター参集開催 <u>就労支援推進部会構成員定例会・学習会の開催</u> ・ 05月29日(金)午後、ちえりあ参集開催。全国就業支援ネットワークの代表理事 藤尾健二氏に就労支援の現状と課題について講演を依頼

	<u>JC-NET 共催 ジョブコーチ養成研修 10 月</u> <u>就労支援アセスメント研修 12 月</u> <u>スタートアップセミナー 2 月</u> <u>さぼコン 2 月</u> <u>さぼサポ発刊 3 月末</u>
部会運営で工夫していることや困っていること	
・ 部会長改選（2/27(金)運営委員会にて） 部会長の負担軽減・分散のため、副部会長 1 名→2 名体制に（規約改正） ・ 北海道労働局との連携強化を協議・意見交換。 次年度より、ハローワーク札幌だけでなく、ハローワーク札幌北・札幌東の専門援助部門担当者にも運営委員に参画もらいスタートアップセミナー（北海道労働局主催、障がい者雇用 0 人企業等対象の雇入れ促進機会）協力等、連携を進めることに。 ・ 運営委員会の開催時間 今年度より、夜間ではなく、勤務時間中に開催できるよう日程調整を行うことに。	

子ども部会

令和7年度の主な活動実績

年3回の運営委員会および事前の事務局会議を開催し、活動立案や活動報告、市の発達支援体制の状況の共有、課題検討を行った。

子ども部会主催や他団体共催の研修会の企画実施、多分野との情報交換を行った。

活動概要

令和7年度 活動実績	【運営委員会（年3回）】【事務局会議（年3回）】 ・すべて対面開催。研修企画、運営の検討。行政説明、学習会の実施。 【各種研修会の実施】 ・9月2日：子ども発達支援者支援力向上セミナー初級コース 対面開催。発達支援、家族支援、グループワーク。 ・12月15日：子ども発達支援者支援力向上セミナー中級コース 福祉、教育、家族など多分野の講義、グループワーク。 ・1月28日：子ども部会全体研修会 児童発達支援センター長会議との共催。家族支援。130名参加 大雪のため、急遽、対面とzoomのハイブリッド実施。 ・2月27日：札幌フロンティアライオンズクラブ協賛研修会 話す聞く伝える力を育てる関わりに関する講義。170名参加。 【各種子ども関連会議への参加】 ・札幌市子ども子育て会議（児童福祉部会、処遇部会） 要保護児童対策地域協議会、札幌市医療的ケア児支援検討会、発達障がい者支援地域支援協議会（発達障がい者家族への支援部会）への委員派遣 【情報交換・交流等】 ・訪問巡回支援関係団体と情報交換（2月2日 zoom 開催） ・各区子ども部会と情報交換（子ども部会ニュースで情報共有） ・社会的養護関係団体と交流（日本子ども虐待防止学会の運営に参画） 【その他】 ・子ども発達支援ガイドブック（学齢期版）の改訂 ・子ども部会の活動報告である「子ども部会ニュース」の発行
	< 防災に関する取組 > ・特にありません。

令和 8 年度 活動予定	・運営委員会、事務局会議を各 3 回開催し、子どもの発達に関する様々な課題について整理及び検討 ・事業者の資質向上および横のつながりの構築に向けた各種研修会の企画および実施 ・札幌市が実施する各種子ども・発達支援に関する会議・協議会への委員派遣、意見提案、連携 ・社会的養護に係る機関、団体との障がい支援に関する情報交流 ・各区地域部会子ども部会との情報交流 ・訪問巡回支援にかかる機関、団体との情報交流 ・子ども発達支援ガイドブック（乳幼児期版）の改訂 ・子ども部会ニュースの発行
	< 防災に関する取組 > ・特にありません。
部会運営で工夫していることや困っていること	
【工夫】 ・支援を必要としている子ども本人だけではなく、家族やその支援者を支えるための活動を展開している。 ・本人のニーズや意見などを尊重できるように、当事者を部会委員として運営会議への参加を検討している。 【課題】 ・「子ども」を取り巻く状況のほか、子どもの実態そのものが変化しているように感じるが、どのような変化が生じているのかを精査する必要性を考えている。 ・子どもの発達についての精査とともに、多機関による縦と横双方のつながりの強化について考えていくことも課題。	

専門部会連絡会



令和7年度の主な活動実績

各部会での地域課題の共有状況や課題への取り組み等を共有した。

各部会の連携における情報交換・情報共有。

活動概要

令和7年度 活動実績	・令和7年8月29日開催（オンライン） 各部会の活動報告。質疑応答、意見交換を行った。 就労支援部会が企画し、相談支援部会長及び子ども部会長がシンポジストとして参加した就労支援研修の振り返りを行った。研修の参加対象者を就労、相談、児童分野の事業所職員とし、幅広い分野のメンバーでグループワークを行ったことの意義が共有された。 また、各部会における部会長の選出方法についての情報共有を行った。 ・令和8年3月26日開催（オンライン） 各部会の活動報告。質疑応答、意見交換を行った。 委託相談の地区割の周知状況や、既存利用者の継続利用について共有された。また、相談支援事業所選びが困難な際、委託相談が助言を行う役割についても再確認された。
-----------------------	--

- 構成：就労支援推進部会、相談支援部会、子ども部会
- 事務局：札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課
さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

運営会議



令和7年度の主な活動実績

これまで自立支援協議会で地域課題として検討された課題や、専門部会等で検討された課題をもとに、さっぽろ障がい者プラン 2024 の一部改訂に向けて提言する内容の検討を行った。

各運営委員の所属する部会での活動等について、情報共有を行った。

活動概要

令和7年度 活動実績	・5月、7月、9月、11月、1月、3月にオンライン会議を開催した。 ○さっぽろ障がい者プラン 2024 の一部改訂に向けた提言内容の検討 ・令和8年度のさっぽろ障がい者プラン 2024 の一部改定に向けて、自立支援協議会からの提言のため、提言内容の抽出とスケジュール等の整理を行った。 ・「重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチーム」、「相談支援部会（計画検討部会課題整理チーム）」、「ヘルパー課題（令和4年度中央区地域部会より課題提出）」、「強度行動障がい課題（令和4年度東区地域部会より課題提出）」の4つの作業分担チームにより、提言内容を検討し運営会議で意見交換を行った。 ○その他 ・各地域部会や専門部会等の活動状況の進捗共有を行い、課題や取組みに関する意見交換を行った。
令和8年度 活動予定	・さっぽろ障がい者プランの一部改定に伴い、札幌市障がい者施策推進審議会に設置される計画検討部会に自立支援協議会会長や各専門部会長が委員として参画する。 ・各部会から提出される地域課題に関する取組方法の整理や地域のネットワーク構築に関する意見交換等を行い、課題解決に向けた取組につなげていく。

○構成：会長、副会長、地域部会長5名、専門部会長3名

○事務局：札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課

さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

課題の整理状況	平成 26 年度 (H27.3)	平成 27 年度 (H28.3)	平成 28 年度 (H29.3)	平成 29 年度 (H30.3)	平成 30 年度 (H31.3)	令和 元 年度 (R2.3)
課題整理後仕分け実行へ	14	20	40	70	54	54
課題整理後仕分け実行し、 一定の改善がみられた	—	—	—	—	45	45
課題整理中	37	45	49	28	5	7
部会再検討へ	7	2	2	0	0	0
部会で解決済み	3	3	3	3	3	3
未着手	8	8	3	0	0	0
計	69	78	97	101	107	109

課題の整理状況	令和 2 年度 (R3.3)	令和 3 年度 (R4.4)	令和 4 年度 (R5.3)	令和 5 年度 (R6.3)	令和 6 年度 (R7.3)	令和 7 年度 (R8.3)
課題整理後仕分け実行へ	62	62	66	66	25	25
課題整理後仕分け実行し、 一定の改善がみられた	45	45	46	46	94	94
課題整理中	0	0	0	7	0	0
部会再検討へ	0	0	0	0	0	0
部会で解決済み	3	3	3	3	3	3
未着手	0	0	0	0	0	0
計	110	110	115	122	122	122

市域協議会への報告年度	課題№
平成24年度	1～18
平成25年度	19～40
平成26年度	41～69
平成27年度	70～78
平成28年度	79～97
平成29年度	98～101
平成30年度	102～107
令和元年度	108～109
令和2年度～4年度	110～115
令和5年度～7年度	115～122

札幌市自立支援協議会 課題整理一覧について(令和8年5月末現在)

今まで札幌市自立支援協議会に提出され、検討されてきた課題については、以下のように整理をいたしました。

1. 現在プロジェクトチーム等で継続して検討している課題

提出課題に関連するプロジェクトチームが活動中。または障がい者プラン提言へ向けてまとめ作業を行っている課題。

【分冊 Ⅰ】

プロジェクトチーム名	◇ ヘルパーの技術向上に関するプロジェクトチーム
主カテゴリー	支援技法・障がい特性
経過・結果	● 第35回全体会(令和2年12月)にてプロジェクトチームの報告およびプロジェクトチームの終了が承認される。 ● 第36回全体会(令和3年6月)ヘルパーの人材不足や技術向上の課題については、引き続き抽出し検討していくことを運営会議より報告、承認。 ● 令和5年度、令和6年度全体会にて、運営会議において中央区提出課題「ヘルパーサービスの調整の難しさについての課題」においてアンケート調査を行うことを検討、実施することが報告された。調査は令和6年度末にまとめられ、専門部会、地域部会へ共有された。 ● 令和7年度全体会(第44回、第45回)にて、重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチームの活動報告がなされ、また中央区提出課題「ヘルパーサービスの調整の難しさに関する課題」とあわせて、さっぽろ障がい者プラン改定へ向けて、協議会からの提言をまとめており、3月末には札幌市障がい福祉課へ提出する予定であることが報告された。

【分冊 Ⅱ】

プロジェクトチーム名	◇ 重複障がいに関するプロジェクトチーム ◇ 重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチーム
主カテゴリー	身体と知的の重複障がい
経過・結果	● プロジェクトチームとしては、令和元年にいったん終了。ワーキングチームを設置。 ● 第39回全体会(令和4年12月)にて、新たに重度身体障がい者に関するプロジェクトチーム設置することについて承認。 ● 第40回全体会(令和5年6月)にて、重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチームの活動開始について承認。 ● 令和6年度全体会(42回、43回)にて、プロジェクトチームの活動報告が行われている。主な活動としては、令和5年度にはアンケート調査の実施、令和6年度には札幌市職員による重度身体障がい当事者の地域生活の視察、当事者の生活についての動画作成。 ● 当事者の生活実態視察後に行われたプロジェクトチームとの意見交換の意見も参考に令和6年度末には、「重度訪問介護の非定型による支給決定に係る個別状況調査票等作成の手引き」の一部改訂が行われた。 ● 令和7年度全体会(第44回、第45回)にて重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチームの活動報告がなされ、また東区提出課題「強度行動障がいに関する課題について」とあわせて、さっぽろ障がい者プラン改定へ向けて、協議会からの提言をまとめており、3月末には札幌市障がい福祉課へ提出する予定であることが報告された。

【分冊 】

プロジェクトチーム名	プロジェクト設置なし
主カテゴリ	分冊 ～ に含まない又はカテゴリ分けされていない課題
経過・結果	● 協議会のプロジェクトチーム等で継続的に検討が行われている

2. 一旦、協議会での取組みを終了した課題

提出課題についてプロジェクトチーム設置・検討され、プロジェクトチームとしての活動が終結。その後、課題に関わる施策内容が、さっぽろ障がい者プランに掲載された課題。課題によっては、協議会以外の組織等で検討中のものもある

【分冊 】

プロジェクトチーム名	◇ 住まいに関するプロジェクトチーム
主カテゴリ	住まい
経過・結果	● 第36回全体会(令和3年6月)にてプロジェクトチームの終了を報告、承認。居住支援協議会との連携については、相談支援部会に引継ぎ。「一人暮らしガイドブック」の周知については、運営会議に引継ぎ。その他残された課題についても運営会議に引継がれることを確認された。 ● 令和4年度に作成された札幌市自立支援協議会好事例集にこの課題に関する「一人暮らしガイドブック」作成の取組みについて掲載された。 https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/keikaku/ ● 令和6年3月にさっぽろ障がい者プラン2024が策定された。基本施策1に「差別解消・権利擁護の推進・虐待防止」、基本施策2に「バリアフリー環境の整備」、基本施策3に「情報アクセシビリティの向上・意思疎通支援の充実」が示されている。 https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/keikaku/

【分冊 】

プロジェクトチーム名	◇ 身体障がい者・知的障がい者地域生活移行推進プロジェクトチーム
主カテゴリ	地域移行
経過・結果	取組みが継続されるものは地域生活支援拠点検証委員会にて継続検討中。 ● 第36回全体会(令和3年6月)にて、身体障がい者、知的障がい者の地域移行に関する課題の抽出を専門部会、各地域部会で行うことについて承認。課題抽出を依頼中。 ● 第38回全体会(令和4年5月)にて、札幌市自立支援協議会の組織の中に新たに地域生活支援拠点検証委員会の設置が承認された。

プロジェクトチーム名	◇ 精神障がい者地域生活移行推進プロジェクトチーム
主カテゴリ	地域移行
経過・結果	取組みが継続されるものは札幌市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討会にて継続検討中。 ● 令和3年9月より札幌市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討会にて課題検討を継続中。 ● 令和6年3月にさっぽろ障がい者プラン2024が策定された。その中の障がい者計画の基本施策5「自立・相談の支援」が示されており、施設入所者・精神科病院入院患者の地域生活への移行推進についての取組みが掲載されている。 https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/keikaku/

【分冊 Ⅰ】

プロジェクトチーム名	◇ 移動に関するプロジェクトチーム
主カテゴリ	移動
経過・結果	● 第35回全体会(令和2年12月)にてプロジェクトチームのまとめ報告およびプロジェクトチーム終了の承認。 ● 第36回全体会(令和3年6月)にてプロジェクトチームの最終報告書を札幌市ホームページに掲載することを確認。報告書については各地域部会等で活用していくことを依頼。残された課題解決へ向けての検証の場を協議会の中に持っていくことを承認。 ● 第40回全体会結果(令和5年6月)にて、さっぽろ障がい者プランの改訂へむけて、自立支援協議会よりプラン策定に関わる課題等について提言を札幌市施策推進審議会計画検討部会にて行っていくということを共有した。 令和6年3月に令和6年度からのさっぽろ障がい者プラン2024が策定された。その中の障がい者計画の基本施策1に「バリアフリー環境の整備」が示された。建築物のバリアフリーや移動のバリアフリーについての新規事業がいくつか示されている。 https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/keikaku/ また、福祉のまちづくり推進会議においては、札幌市福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル改訂など、バリアフリーに関する検討がすすめられた。協議会から提言された内容について、一部取り上げられている。 https://www.city.sapporo.jp/fukushi/suishin/gaiyou.html

【分冊 Ⅱ】

プロジェクトチーム名	◇ 教育と福祉と医療の連携に関するプロジェクトチーム
主カテゴリ	教育
経過・結果	● プロジェクトチームは平成30年度末で終結。継続的に検討が必要な課題については、子ども部会および課題が関係する組織で引き続き検討。

【分冊 Ⅲ】

プロジェクトチーム名	プロジェクト設置なし
主カテゴリ	相談支援
経過・結果	● 令和6年3月に令和6年度からのさっぽろ障がい者プラン2024が策定された。その中の障がい者計画の基本施策5「自立・相談の支援」が示されており、相談支援事業の充実という取組みが記載されている。 https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/keikaku/

【分冊 Ⅳ】

プロジェクトチーム名	プロジェクト設置なし
主カテゴリ	行政の仕組み
経過・結果	● 第30回札幌市自立支援協議会全体会で、各区地域部会に対し、年1回程度の行政との合同会議開催に関しては、各区の状況に合わせて必要に応じ開催。内容については全体会にて報告していくことが承認。 ● 課題に関わる施策内容がさっぽろ障がい者プランに掲載されたため、一旦協議会での取組み終了。

【分冊 】

プロジェクトチーム名	プロジェクト設置なし
主カテゴリ	分冊 ～ に含まないまたはカテゴリ分けされていない課題
経過・結果	● 課題に関わる施策内容がさっぽろ障がい者プランに掲載、もしくはその他の事業等で取組が行われているため、一旦協議会での取組み終了。なお取組みが継続されるものは課題引継ぎ先にて継続。

全体会

令和 7 年度の主な活動実績

重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチームの取組に関する報告。
地域生活支援拠点検証委員会に関する報告。
「さっぽろ障がい者プラン 2024」の 2024 年度の進捗状況報告。

活動概要

令和 7 年度 活動実績	◇ 第 44 回自立支援協議会（令和 7 年 6 月 25 日開催） ➤ 各部会からの報告をもとに令和 7 年度の年間活動報告書を決定し札幌市へ報告。 ➤ 地域生活支援拠点検証委員会における運用状況及び課題に関する報告を受けた。 ➤ 重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチームから活動報告を行った。 ➤ さっぽろ障がい者プラン 2024 の一部改訂について考え方や、改訂に係るスケジュールについて報告を受けた。 ➤ 札幌市自閉症・発達障害者支援センター「おがる」の活動について報告を受けた。 ◇ 第 45 回自立支援協議会（令和 7 年 12 月 10 日開催） ➤ 各部会及び運営会議から活動状況の中間報告を行った。 ➤ 重度身体障がい者の地域生活に関するプロジェクトチームから活動報告を行った。 ➤ 「さっぽろ障がい者プラン 2024」の 2024 年度の進捗状況について報告を受けた。
令和 8 年度 活動予定	・引き続き、各部会や運営会議の活動内容を共有しつつ、関連機関との連携を進めながら、地域の課題から新たな資源の開発に結び付けていく。

- 構成：委員名簿に記載のとおり
- 事務局：札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課
さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール

重度身体障がい者の地域生活に関する プロジェクトチーム



担当委員：小熊委員

令和7年度の重点項目（令和8年6月全体会でプロジェクト終了）

- ・札幌市福祉課職員、相談支援事業所、重度訪問介護事業所を対象とした研修「重度身体障がい者の地域生活を知る」を実施
- ・プロジェクトの報告書作成
- ・さっぽろ障がい者プランへの提言の作成

活動概要

令和7年度 活動実績	・毎月会議実施（第20回～第30回） ・札幌市福祉課職員、相談支援事業所、重度訪問介護事業所を対象とした研修「重度身体障がい者の地域生活を知る」を実施した。（7月9日） また、研修で使用した動画を協議会関係者の研修会等に活用してもらうこととした。（令和8年5月末まで） ・プロジェクトの取り組みと成果および取り組めなかった課題などをまとめた報告書を作成した。（重度身体障がい者が地域生活を送るにあたっての制度、人材不足、障がい児の支援、親なき後等） ・さっぽろ障がい者プランへの提言を作成した。 ・取り組みを通して、手引きが改定され、支給決定までの手続きが円滑になり、見守り時間が認められるなどの大きな成果を得た。 ・札幌市自立支援協議会の好事例集に載せられるかを令和8年度の協議会で検討してもらうことを確認した。
---------------	---

課題の概要

- ・札幌市において重度身体障がいのある方が地域で生活するうえで十分な支援を受けられない実情があるなかで、課題を深く掘り下げ、日常生活の実態を明らかにし、課題解決へ向けた取り組みを進めていく必要がある。そこで、アンケート調査、訪

問視察、研修会などを具体的に実施した。今後も継続して、重度訪問介護に関する情報提供体制の充実、重度訪問介護の非定型支給申請にかかる手続き等の課題の解消、人材・サービス提供事業所等資源不足の解消、安心してその人らしい生活が送れるための取り組みが求められる。

プロジェクトの目標

- ・重度障がいがある方の地域生活について、これまでのプロジェクトでの取り組みの成果をまとめ、課題ごとの解決を目指して、令和9年さっぽろ障がい者プランの改定に向けた提言を行う。

プロジェクト活動の総括

- ・重度訪問介護の支給量決定手引きが改定され、支給決定までの手続きが円滑になり、見守り時間が認められるなどの大きな成果を得た。札幌市自立支援協議会の好事例集に載せられるかを令和8年度の協議会で検討してもらう。
- ・重度身体障がい者が地域生活を送るにあたっての制度、人材不足、重度重複障がい児者・医療的ケアを要する重度障がい児者・強度行動障がいの方の支援、親なき後等の課題を報告書と提言にまとめた。

構成員 敬称略

分 野	所 属	氏 名
学識経験者	北海道医療大学 看護福祉学部福祉マネジメント学科 講師	近藤 尚也
障がい当事者	北区地域部会 部会長	紺野 順子
障がいサービス事業所 （通所）	株式会社マザー 企画広報室 室長 札幌アシストセンターマザー相談支援事業所	小谷 晴子 （R5.9～ R7.4）
障がいサービス事業所 （居宅）		
相談支援事業所	相談支援事業所グリーンハイム（委託相談支援事業所）	山田 訓義
	いにし社会福祉士/作業療法士事務所（指定相談支援事業所）	伊西 夏恵
豊平区地域部会	特定非営利活動法人イコール	小熊 広道
当事者家族	北海道重症心身障害児(者)を守る会	太田 由美子
協議会運営会議委員	特定非営利法人障がい者就労支援の会 あかり家	妻倉 ゆかり

オブザーバー	認定 NPO 法人 DPI 日本会議 副議長	西村 正樹
--------	------------------------	-------

(事務局)

札幌市障がい福祉課	皆越、平野
さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール	赤杉、高村

令和 7 年度札幌市自立支援協議会年間活動報告書

< 分冊 1 年間活動報告編 >

編集・発行 札幌市自立支援協議会

<http://www.city.sapporo.jp/shogai/fukushi/tiikijiritusien/tiikijiritusien.html>

